

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和7年度第1回宮古市消防委員会を次のとおり開催しました。

令和7年6月5日

宮古市消防委員会

1 開催日時

令和7年5月20日（火） 午後2時00分～午後3時30分

2 開催場所

宮古市民交流センター 1階 会議室3

3 議題

- (1) 消防施設整備事業について
- (2) 令和7年度宮古市消防団事業計画について
- (3) 令和7年度宮古市消防大演習について
- (4) 宮古市消防団の現況について
- (5) 大船渡林野火災の消防応援派遣報告について
- (6) 大船渡林野火災に係る宮古市の支援について

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

危機管理監 消防対策課 管理係 電話0193-62-5533

令和7年度第1回宮古市消防委員会

1 出席者（8名）

山崎俊雄委員長、佐々木寛副委員長、大棒レオ子委員、柳澤良文委員、
信夫幸子委員、門屋菊子委員、中嶋隆子委員、坂本百洪委員

2 欠席者（2名）

平井亮吉委員、因幡幸助委員

3 事務局出席者（10名）

危機管理監 芳賀直樹、危機管理課長 山崎正幸、消防対策課長 岩花一則、
消防係長 伊藤勝、副主幹 佐々木弘之、副主幹 櫻野亨、副主幹 伊藤明弘、
管理係長 山根誠司、主査 澤田元樹、主査 佐々木健一

4 傍聴者

1名

5 議事等

- ・議題(1)～(6)について事務局から説明を行い、各委員から意見や質問が出され審議された。
- ・消防団員の減少と高齢化対策は当委員会の重要な課題であると位置付け、今後
も諮問機関としてどのような提言をしたらよいのか見極めていく必要がある。
また、高齢化が進む中で、消防力の確保も重要であり市の体制も改善していく
など、将来に向けた方向付けを申し上げたい。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「消防施設整備事業について」】 (委員) ・消防ポンプ自動車の価格が上がっているが、仕様の変更はあるか。 (委員) ・消防ポンプ自動車の更新計画で、同時期に更新する車両が複数台ある場合の対応はどうするのか。 【議題(2)「令和7年度宮古市消防団事業計画について」】 (委員) ・林野火災では、自然水利が重要であるが、点検整備を実施しているか。 【議題(3)「令和7年度宮古市消防団大演習について」】 (委員) ・消防団協力事業所への感謝状贈呈は消防団を盛り上げる意味でも評価できる。基準を満たす事業所が多い場合はどうするのか。 【議題(4)「宮古市消防団の現況について」】 (委員) ・令和6年度は、ここ数年で一番多い入団数だが平均年齢が下がっていない。どの年代の入団が多いのか。 (委員) ・入団者数が増えた要因はなにか。 (委員) ・女性の入団も多いが、どのような活動をしているのか。	(事務局) ・仕様の変更はない。排ガス規制適合エンジンや安全支援装置の搭載が義務化され、それにより価格高騰している。 (事務局) ・走行距離や修理歴などを勘案して更新を計画する。 (事務局) ・水利点検時に実施している。 (事務局) ・認定年数や雇用人数等を勘案して表彰したい。 (事務局) ・若年層は少なく、中年層の入団が多い傾向にある。 (事務局) ・広報誌等を活用した消防団員募集は行っているが、入団理由の多くは地域の方の勧誘がほとんどである。 (事務局) ・特別な活動はありませんが、各種行事での消防団の広報やアナウンス等をしてい

今後、女性が活躍できる場を広げていただきたい。 (委員) ・大船渡林野火災で一生懸命活動している若者を見て、自分も人の役に立ちたいと思っている若者は多いと思う。そこをうまくアピールして入団促進に繋げていただきたい。 【議題(5)「大船渡林野火災の消防応援派遣報告について」】 (委員) ・消防応援活動お疲れ様。 【議題(6)「大船渡林野火災に係る宮古市の支援について」】 (委員) ・福祉避難所の受け入れは、被災地からの送迎もしたのか。 (委員) ・宮古市が実施しているペット同伴避難は評価できる。避難された方も大変喜ばれていた。犬や猫等で部屋をわけるといった対応などもしていただけるのか。	ます。今後も、活動の幅を広げていければと考えている。 (事務局) ・参考にさせていただく。 (事務局) ・被災者の状態に合わせ、福祉車両等で送迎も実施したと聞いている。 (事務局) ・限界はあるが、大きく4区画にわけて受け入れることは可能である。
--	---